

# 第29回 KMJ研究夏期セミナー

## 戦後70年と「在日」 在日コリアンの過去・現在そして未来を考える

2015年は、戦後70年という節目の年です。しかし、日韓関係は、歴史認識にはじまり竹島（独島）問題、「慰安婦」問題、朝鮮半島出身者の「旧民間人徴用工」をめぐる裁判などをめぐり政治的対立がつづいています。それらの影響により日本国内では、在日コリアンをターゲットにしたヘイト・スピーチデモに代表される民族差別行為がまかり通っています。これは明らかに日本の戦後処理の不十分さに起因していると言えます。

今年で29回目を迎える当セミナーでは、この節目の年に戦後50年（1995年）に制作された映画『在日』を改めて鑑賞するとともに、呉徳洙監督にこれからの「在日」と日本社会について大いに語っていただきます。民族差別をなくし、真の共生社会をめざすため、ともに学び、考えていきましょう。

### － 開 催 要 項 －

【日 時】 2015年11月8日（日）

受付開始	午後12時
開 会	午後12時30分
第1部映画上映	午後12時40分～3時10分（150分）
第2部トーク	午後3時20分～4時50分（90分）
終 了	午後5時

【第1部】 映画『在日』歴史編＋人物編（一部）

【第2部】 トーク 呉徳洙 監督

聞き手 藤原 史朗さん

【会 場】 阿倍野市民学習センター講堂

大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300 あべのベルタ 3階  
最寄り駅：地下鉄谷町線「阿倍野」駅7号出口

【定 員】 100名

【参加費】 1000円

【お申し込み】 別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

\* 終了後、呉監督を囲んで懇親会を行います。参加ご希望の方はお申し込み下さい。

## 【講師と上映作品の紹介】



### 吳徳洙（オ・ドクス）監督と映画『在日』

1941年秋田県生まれ。1965年、早稲田大学卒業。1966年、『白昼の通り魔』の助監督を務め、その後も数本の大島渚監督作品に助監督として携わる。1968年東映東京制作所に入所。『キイハンター』『プレイガール』などのテレビ作品を手がける。創作プロダクションOH企画を設立し『指紋押捺拒否』を発表。以後、戦後在日50年を記念して作られた『在日』は在日史のみならず、戦後日本史とも表される作品である。

## 【会場地図】



【主催・連絡先】一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター（KMJ）  
大阪市生野区中川西 3-10-18  
TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702  
E-mail: kmj@star.odn.ne.jp URL: <http://kmjweb.com>

第 29 回 K M J 研究夏期セミナー  
参加申込書  
(FAX06-6717-2702)

お名前		ご所属 (任意)	
ご連絡先	住所	TEL	FAX

\* 複数名参加の場合

お名前


\* 請求書

必要

不要

\* 終了後の呉監督を囲んでの懇親会

参加

不参加

【連絡先】 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター (K M J)  
大阪市生野区中川西 3-10-18  
TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702  
E-mail: kmj@star.odn.ne.jp URL: http://kmjweb.com